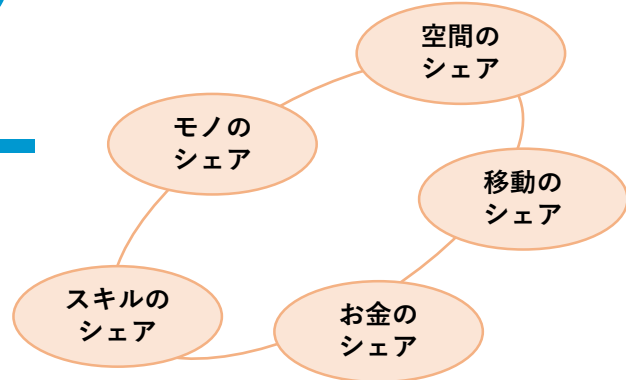


シェアリングエコノミーで拓く地域のミライ

シェアリングエコノミー 推進フォーラム



シェアリングエコノミーの鍵は「中間支援機関」と「相互理解」

スキル・時間・場所・モノなど有形・無形の遊休資産を共有する「シェアリングエコノミー」によって、地域の課題解決を目指す取組が増えています。地域でシェアリングエコノミーを自走化させるためには、自治体や住民、シェアリング事業者が理解し合い一緒に取り組むこと、その実現のために、間を取り持つ「中間支援機関」の存在が鍵であることが見えてきました。実際にシェアリングエコノミーに取り組む地域をロールモデルに、成功へのヒントをお伝えします。

参加費
無料

定員 **80名**

【日時】 2月22日 (金) 14:00~17:00
(16:35~名刺交換会)

【対象】

自治体、地域経済団体、地域金融機関、
シェアリング事業者、DMO・NPO法人、
その他本事業に興味のある方 等

【主催】

経済産業省 関東経済産業局

【後援】

一般社団法人シェアリングエコノミー協会

【協力】

株式会社パソナ

【会場】

TRAVEL HUB MIX (株式会社パソナ内)

【プログラム】

- 14:00~14:10
主催者挨拶・趣旨説明
- 14:10~14:30
シェアリングエコノミー導入における「中間支援機関」に係る活用可能性調査結果報告
- 14:30~15:30
シェアリングエコノミーモデル事例創出のための「出張講座」事例発表
- 15:40~16:20
総務省「シェアリングエコノミー活用推進事業」採択自治体による事例発表
- 16:20~16:35
平成31年度総務省支援施策「シェアリングエコノミー活用推進事業」及び「ローカル10,000プロジェクト」説明
- 16:35~17:00
名刺交換会

所在地：

東京都千代田区大手町2-6-2
JOB HUB SQUARE 1階

最寄り駅：

JR東京駅 日本橋口
東京メトロ 大手町駅 B8a出口
東京メトロ 日本橋駅 A1出口
東京メトロ 三越前駅 B2 出口



【申込方法】

以下のメールアドレスあてに、下記の項目を記載のうえ、送信ください
(1) 氏名 (2) 所属先 (3) 連絡先 (電話番号) (4) 参加動機

E-mail: Kanto-jinzai@meti.go.jp



お申し込み・
詳細はこちら

【問い合わせ先】

関東経済産業局 地域経済部 社会人材政策課 担当：河野、秋山
TEL：048-600-0274 E-mail：kanto-jinzai@meti.go.jp

詳細は裏面

1. 主催者挨拶・趣旨説明

2. シェアリングエコノミー導入における「中間支援機関」に係る活用可能性調査結果報告

株式会社パソナ ソーシャルイノベーション部長 / 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 加藤 遼様

地域でシェアリングエコノミーを長く自走化させるための仕組みとして「中間支援機関」に着目し、ヒアリングを実施。見えてきた「中間支援機関」が担う役割、期待される機能、自治体との連携、体制構築のポイントなどを報告します。

パソナ・ソーシャルイノベーション部では、徳島市と連携した阿波おどり開催期間中のイベント民泊を通じた地域住民と旅行者の交流促進、釜石市と連携したラグビーワールドカップ開催を契機とした市民によるホームステイ・体験・駐車場シェアサービスの提供を通じた持続可能な観光地域づくり、千葉市と連携したシェアを活用した市民力によるまちづくりなど、シェアリングエコノミーを活用した地域住民の新しい働き方の創造や観光地域づくりに取り組んでいる。その他、「旅するようにはたらく」都市と地域のパラレルキャリアやラーニングツーリズムの推進、サステナブルツーリズムを通じたSDGS推進にも注力している。

3. シェアリングエコノミーモデル事例創出のための「出張講座」事例発表

栃木県足利市、千葉県一宮町

地域における社会課題の解決を目指してシェアリングエコノミーに取り組むために重要な、ステークホルダー間の意識統一や地域を巻き込んだ機運醸成を目的に、2地域で「出張講座」を開催しました。両地域の自治体側と中間支援機関側の両名に登壇いただき、出張講座の感想や導入に向けた地域の動きや反応、今後の展開などをお話いただきます。

栃木県足利市：観光×スキルシェア

足利市商工振興課 主幹 山田 秀一様
NPO法人コムラボ 代表理事 山田 雅俊様



「あしかがフラワーパーク」の大藤やイルミネーションが海外でも人気。観光客は増加傾向も、市内の回遊策や情報の発信力がまだまだ課題。「観光×シェア」の実現に向け、クラウドソーシングの実績を活かして取組中。

千葉県一宮町：観光×スペースシェア（民泊）

一宮町 町長 馬淵 昌也様
合同会社いちのみや観光局 代表 宇佐美 信幸様



町内の釣ヶ崎海岸がオリンピックのサーフィン競技会場に決定。国内外から来町する競技観戦者に対し、宿泊・移動・食事等の観光インフラ整備が課題の中、シェアリングエコノミーによって解決を検討中。

4. 総務省「シェアリングエコノミー活用推進事業」採択自治体による実施発表

長野県北相木村、大阪府池田市

今年度、総務省の「シェアリングエコノミー活用推進事業」では全国14地域が採択され、シェアリングエコノミーを活用した地域課題の解決や地域経済の活性化に取り組みました。多くの地域で課題となっている「低未利用スペースの活用」と「地域の足の確保」に取り組んだ2地域に登壇いただき、取り組み背景や、事業内容・成果、今後の展開などをお話いただきます。

長野県北相木村：スペースシェア

北相木村 経済建設課 課長補佐 菊池 忠水様
(一財)長野経済研究所 調査部 研究員 折井 聡様
日本電気株式会社 エキスパート 三谷 慶人様



空き施設となっていたダム建設旧現場事務所をシェアオフィス等として利活用し、運営スタッフには地域人材の空き時間を活用する、「スペース」と「スキル」のシェアリングに今年度の実証事業で取り組む。

大阪府池田市：ライドシェア

池田市 総合政策部次長兼政策企画課長 斎藤 芳朗様
池田市 都市建設部まちづくり・交通課 渡邊 勇樹様



ニュータウンとして栄えた伏尾台地域も現在では高齢化率が上昇し、地域内での移動手段確保は喫緊の課題。解決策の一つとして、住民ドライバーによる自家用有償運送を検討し、今年度実証事業を実施。

5. 平成31年度総務省支援施策「シェアリングエコノミー活用推進事業」及び「ローカル10,000プロジェクト」説明

総務省 地域力創造グループ 地域政策課

各地域でシェアリングエコノミーの導入にあたり活用いただける31年度施策を、総務省ご担当よりご説明いただきます。

6. 名刺交換会